

中国木材とSDGs

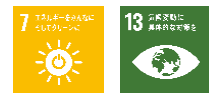
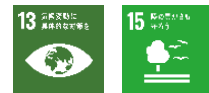
森林資源を活用する製材業は、森林の持続可能性に貢献できる事業であることが重要と考えています。中国木材は、「森林資源を余すことなく活かした木材製品の安定供給」をテーマに 創業70周年を迎えます。

製材製品の原価構成は、丸太と輸送コストで、8割近くを占める事からも、丸太の全てを活かしきる体制と、構造的な物流コスト低減に繋がるインフラに、投資を行って参りました。それらを一言で表現すると「もったいないをなくそう」です。

中国木材の経営理念を、SDGsに照らしてみると、合致している事が多く 心強く思います。これからも、「人と環境のことを一歩進んで考える」中国木材でありたいと考えています。

具体的な取組み例

- 木材生産における無理無駄を無くし CO2排出を抑制しています。拠点毎の丸太特性を活かした 拠点相互に補完するシステムにて、2千種に及び製品の 類を見ない即納体制の基盤としています。
- 環境負荷の小さい船舶による モーダルシフトを 推進しています。全国10拠点に 船舶用岸壁を整備し、拠点間輸送に於いての CO2排出を 大幅に削減しています。
- 所有する山林への植林と育林、さらに優良種苗の開発から、山林のCO2吸収を増進して参ります。
- 山に放置されていた未利用材も活用することで、放置された結果、腐敗と分解から発生する地球温暖化ガス(メタン・CO2) を削減します。
- 樹皮とオガ粉を燃料にした、バイオマス事業による グリーンエネルギーの生産を行います。



中国木材の実践数値



山林保有 10,804 ha

東京ドーム 約2,310個分

2023年9月時点



139万 CO2トン (38万炭素トン) の固定化

年間175万m³ の構造用木材の生産販売

48万世帯の年間排出量に相当

2022年実績



バイオマス発電量 7.6万kWh

約23万世帯の家庭消費電力に相当

世帯あたり使用量 (電気事業連合会) から計算

2023年3月時点



木造軸組み構造材 26.0%の供給シェア

横架材 計 35.9% (13.6万棟分)

柱材 計 14.6% (5.5万棟分)

羽柄材 計 17.8% (6.7万棟分)

2022年実績